

ニッケル水素電池

組電池

世界が認める、高機能・高品質のレクセル。
優れたコストパフォーマンスで、
お客様仕様の組電池をご提供します。

安全で、環境に優しい。

LEXELのニッケル水素電池は、地球環境のことを考えたりサイクルが効く、環境に優しい充電電池です。

※年間10億本もの使い捨て電池を埋め立て廃棄しており、もう使い捨て電池を埋める所が少なくなっています。

自己放電が少なく経済的。

独自技術（国際特許出願中）により自己放電を抑え、充電半年後で約90%、1年後でも約85%の残容量を実現。充電すれば、くり返し約1,000回使えて経済的です。

※使用回数はJIS C8708試験条件に基づく目安です。使用機器または使用条件により異なります。

つぎ足し充電もできる。

メモリー効果※の影響が少ないので、使った分だけ充電できる簡単で使いやすい電池です。

※放電しきらない状態で、再充電を何度も繰り返した場合に使用時間が短くなる現象。

パワー長持ち、アルカリ乾電池の5倍。

アルカリ乾電池に比べパワーが長持ちし、デジタルカメラでの撮影枚数は約5倍です。

寒冷地や高温地に強い。

タイプにより-40℃~80℃の厳しい環境化に対応します。



単セル120種・組電池350種
豊富なバリエーション

用途に合わせた豊富なバリエーションをご用意。

お客様のご要望に沿った各種組電池に対応。
中・小ロットもお気軽にご相談ください。
用途に合わせた高性能のニッケル水素電池。単セル120種・
組電池350種の豊富なバリエーションを取り揃え、幅広く
高度な要求にも対応致します。



[高温タイプ] (トリクル充電)

- 幅広い使用環境温度に対応。
(温度範囲-20℃~80℃)
- 繰り返し充放電に優れる。

各種バックアップ用途
等

[ハイパワータイプ]

- 大電流放電に優れる。

電動工具・無線機・農機具
等

[低温タイプ]

- 40℃~の使用温度範囲

寒冷地対応製品・
冷凍倉庫内使用製品
等

[低自己放電タイプ] (e-keep)

- 自己放電特性に優れる。

音響機器・電動シェーバー・
各種民生用機器
等

組電池

採用

**サンプル
評価**

サンプルを製作し、
現品による評価。

**プレゼン
御見積**

単セル・組電池の
ご提案。技術資料・
図面とお見積をご
提示。

ヒアリング

蓄電デバイスのク
リアすべき、お客
様の要求と仕様・
ロット等を打合せ。

製品化計画

お客様が自社開発
製品の蓄電デバイス
仕様を検討。



e-keep	
単1	8,000mAh
単2	4,000mAh
単3	2,000mAh
単4	800mAh
9V	200mAh

■その他の蓄電デバイス製品 《ニッケル水素電池の他にも、様々な蓄電デバイスを取り扱っています。》

日本レクセル
リン酸鉄リチウムイオン電池・組電池

今までのリチウムイオン電池の
問題点を限りなくなくし、安全
性を重視した充電式電池です。

TOSHIBA
リチウムイオン2次電池 SCiB

酸化物系新材料の採用などにより、
熱暴走を起こしにくい構造で、
安全性に優れた2次電池です。

Advanced Capacitor Technologies
リチウムイオンキャパシタ

ナノゲートカーボン技術を用い
て開発。エネルギー密度が大きく、
耐電圧が高いキャパシタです。

ご相談・お問い合わせは下記の担当部署までご連絡をお願い致します。

明日へ、情報ヒューマニゼー
株式会社 光アルファクス

営業推進本部 新規事業推進部
TEL.06-6208-1814 FAX.06-6208-1833
〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-2 (大阪中之島ビル) www.hikari-ax.co.jp/
国内拠点：東京・熊谷・名古屋・大阪・神戸・京都・北九州 海外拠点：香港・上海



LEXEL

LEXEL BATTERY (SHENZHEN) CO., LTD.
工場所在地: 中国 深圳市宝安区
<http://www.lexelbattery.com/>

LEXEL BATTERYは1997年に発足したニッケル水素電池専門メーカーです。1日60万セルを生産し、世界トップレベルのOEM先に、ワイヤレス通信機器用電池、市販用、玩具(ラジコン)等の家庭用電気機器に電池を供給しています。

●本資料に掲載されている製品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。
●本資料に掲載されている製品は、外国為替および外国貿易法により、輸出または海外への提供が規制されている場合があります。
●本資料に掲載されている技術情報は、製品の代表的動作・応用を説明するためのもので、その仕様を照して当社および第三者の知的財産権その他権利に対する保証または実施権の許諾を行うものではありません。
●本資料の掲載内容は、技術の進歩などにより予告なしに変更されることがあります。